

令和5年度（保土ヶ谷支援学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上 （法令の遵守、服務規律の徹底）【必須】	公務外においても公務員・教員としての自覚を持ち行動する。	<p>【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 法令に基づく義務に加え、社会規範を確認し、適宜情報提供や注意喚起を行った。 不祥事防止研修において、チェックリストによる振り返りを実施し、各自で確認する場を設けた。 <p><達成状況></p> <p>○資料を活用し、ポイントを絞って伝えることで、個々で振り返り、意識を高めることができた。</p>
職場のハラスメント （パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止【必須】	相手や周囲の方の気持ちを尊重しつつ、自分の意見を素直に主張できる働きやすい職場環境を作る。	<p>【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修会や資料をもとに注意喚起を行い、お互いに気持ちを受け止め、相談しやすい環境づくりを進めた。 管理職との面談等で意思疎通を図った。 <p><達成状況></p> <p>○ハラスメントへの意識は高いが、職員の多忙化から職員間のコミュニケーション不足は、まだまだ課題が残る。</p>
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止【必須】	職員一人ひとりが決められたルールを遵守し、未然防止に当事者意識を持って取り組む。	<p>【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導は複数の教員で対応し、密室状態にならない環境作りに努めた。 児童・生徒に対し、相談しやすい環境づくりに努めた。 管理職は日常的に巡視し、校内環境を確認した。 職員は校務内外において、高い倫理観を持って行動し、不祥事防止の徹底に努めた。 <p><達成状況></p> <p>○毎月の不祥事防止研修等で環境設定や倫理に関する指針を職員に周知し、未然防止に当事者意識を持って取り組むことができた。</p>
体罰・不適切な指導の防止【必須】	児童・生徒の人権を尊重した指導により、体罰や不適切な指導を防止する。	<p>【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導においては複数の教員で対応し、密室状態にならない環境を作った。 児童・生徒に対し、相談しやすい環境づくりに努めた。 各学部でテーマや具体的な行動指針を設定し、人権に配慮した行動に取り組んだ。 <p><達成状況></p> <p>○資料を活用して研修会で取り組む他に、各学部でテーマを設定して、人権に配慮した行動に取り組むことができた。</p> <p>また、人権研修会を2学期直前(夏季休業中)に行うことで、様々な気づきを得て2学期に臨むことができた。</p>
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止【必須】	個別教育計画・進路関係書類等の作成・保管・廃棄を、項目や内容に配慮し適正に行う。	<p>【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料作成方法について学部等で共通理解し、随時注意喚起を図った。 個人情報の管理・保管、そして誤配付がないように複数人で点検し、作業を進めた。 <p><達成状況></p> <p>○個人情報の保管・廃棄について、項目や内容を確認し適正に行うことができた。</p>

個人情報等の管理、 情報セキュリティ対策	個人情報の適正な管理と運用により信頼性の高い業務の遂行を図る。	<p>【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーバー及び電子データの定期的な点検管理を行った。 ・個人情報の適正な管理・運用と環境整備を行った。 <p><達成状況></p> <p>○電子データの扱いについて、定期的な管理に加えて、7月には全体に呼びかけてデータの整理と適正運用のチェックを行った。個人情報の扱いは、暗号化ファイルサーバでのデータ管理と鍵のかかるキャビネットでの管理を行っている。</p>
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通ルールを守り、事故の未然防止及び飲酒運転ゼロを徹底する。	<p>【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員啓発資料を活用して、随時注意喚起を行った。 ・事故を起こした際の対応について周知した。 <p><達成状況></p> <p>○未然防止に向けた取組について徹底し、飲酒運転等事故もなく目標を達成することができた。</p>
業務執行体制の確保等(情報共有、相互チェック体制、業務協力体制)	日常的に情報共有し、チームで事故を未然に防止する環境を作る。	<p>【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報や業務をチーム内で共有し、複数で点検・確認しながら、各々の業務を進めた。 ・Teamsを活用しながら、密に情報を共有し、円滑な業務遂行につなげた。 <p><達成状況></p> <p>○事故が起きた際は、関係の班内で速やかに情報共有し、各方面からの対応策をもとに協議して、事故防止のためのシステムづくりを行った。Teamsのチャットで情報を共有することで、チーム内で相互チェック・協力体制をとることができた。</p>
財務事務等の適正執行	公費及び私費会計の適正な執行・管理や、備品等の適正な管理を行う。	<p>【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私費会計マニュアルをもとに、会計処理を速やかに行い、適正な執行を行った。 ・Teamsを活用しながら、密に情報を共有し、円滑な業務遂行につなげた。 <p><達成状況></p> <p>○会計処理に関しては、適正に執行・管理することができた。次年度も事故防止への意識を維持できるよう取り組む。</p>

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

不祥事ゼロプログラムの目標及び行動計画に基づき、全教職員が各学部・グループの業務に応じて意識して取組を進めてきた。毎月実施の不祥事防止研修会により、テーマに沿って自己を振り返り、意識の向上を進めてきた。

今年度のプログラムについて、全体として達成されたものと考えられるが、不祥事防止の取組は繰り返し行うことに意義がある。引続き風通しの良い学校環境づくりや、会計処理のミス、個人情報の誤配付など、日常的に無意識に行いがちなことを意識することに取り組みたい。

次年度に取り組む課題として、業務の効率化・縮減については今年度取り組んできた実績を基に引続き各学部・グループで業務の見直しを進めていきたい。職員の多忙感を少しでも減らすことで、結果、事故・不祥事の発生防止にもつながると考える。そのため、引続き働きやすい職場環境、同僚性の醸成を図っていききたいと考える。